

茨城県国際理解教育推進協議会

会長 川俣 勝慶 殿

ワールドキャラバン国際理解教育実施報告書

学校名 ひたちなか市立東石川小学校 担当教諭名 草野 敦子

「ワールドキャラバン」国際理解教育については、下記のとおり実施しましたので報告します。

記

実施日時	平成23年9月7日(水) 9:00 ~ 13:30
対象学年と人数	第6学年(62名)
派遣講師名と出身国	根本 久美子さん (日本) オレリー ノエルさん (フランス) 新垣 マリアさん (ペルー) ユ イチさん(中国)
活動の内容	・全体会(あいさつ, 紹介など) 【第1部】ワークショップ「テーマ :地球家族」 【第2部】文化紹介及び交流 ・3つの教室を確保した。3人(3カ国)の外国人講師に、それぞれ、教室で紹介・交流をしていただいた。 ・児童は3班編成。3つの教室を、班ごとに移動(20分単位)しながら交流した。 ・紹介及び交流の内容は、国土(地理・自然・名勝など)、文化(言葉・踊り・遊び・衣・食・住など)、歴史、社会の様子など。 —昼食—
今回実施されたワールドキャラバンについて評価	・ 総合的な学習の時間で国際理解教育としてワールドキャラバンを実施しました。異文化に触れる機会の少ない児童にとって、世界3カ国からの講師の先生方のお話を直接聞いたことは、大変貴重な経験となりました。来年度も本事業に参加させていただきたいと考えています。
生徒・保護者等参加者の感想	・ (日本人ファシリテーターによるワークショップ)「地球家族」では、世界には、様々な国があること、そこにはそれぞれの文化があることが分かり、また、「大切なものは何か」について考えることができました。 ・ 外国人の先生の話が分かりやすく、そのうえ、おもしろかったです。外国がとても身近に感じました。視野を広げるよい機会となりました。 ・ 3つの国のことがよく分かりました。自分も講師の先生方のように自国(日本)のことを紹介できるかと考えると、疑問です。もっと、日本のことを理解しなければと改めて思いました。
先生の感想	・ 外国人講師の方々がそれぞれにプレゼンテーションを工夫されていました。児童は、メモをとりながら熱心に話を聞き、他国理解が進みました。 ・ 分かりやすい映像に加え、民族衣装を見せていただいたり、言葉を教えていただいたり、踊りや遊びを実際に体験させていただいたりし、外国が身近に感じられました。 ・ 外国の歴史や文化、人々の生活や風習に興味をもち、多種多様な国々の違いやよさ、日本とのつながり等を理解することができました。貴重な機会をいただき、本当にありがとうございました。

